

市内企業の女性就労を促進！**職住近接モデル創設に向けた
地域拠点における求人情報発信を試行実施します!!**

横浜市では、就労希望を持つ女性と人材確保を課題とする地元企業を結び付ける職住近接モデル創設に向けて、金沢臨海部をモデル地区とした取組を進めています。

このたび、**職住近接実現の具体策として、金沢臨海部での「地域拠点における求人情報発信」を試行実施します。**また、この取組の一環として**「地域と地元企業の交流イベント」を開催します。**

なお、本取組は横浜市立大学「平成30年度教員地域貢献活動支援事業（協働型）」に採択され、実施するものです。（代表教員：国際総合科学部 准教授 三輪律江）

【職住近接を進める背景】

- ・横浜市では、市外に勤務する女性が多く、長時間通勤や長時間労働などが負担となり、働いていない女性のうち妊娠・出産期に離職した割合が7割に上り、全国と比較して高くなっています。
- ・一方で、働いていない女性の9割近くが就労希望を持っています。

※横浜市「女性の就業ニーズ調査」（平成29年度）より

金沢臨海部での「地域拠点における求人情報発信」試行実施

就労希望をもつ地域住民に、地元企業の求人情報を直接的に届ける仕組みとして、地域拠点における求人情報発信を試行実施します。

- ◆内容： 金沢臨海部の求人情報を掲示する**「求人情報コーナー」を地域拠点に設置**
- ◆場所： **並木ラボ**（金沢区並木一丁目17 金沢センターシーサイド名店会内）
- ◆期間： **平成31年1月上旬～3月31日**

※先行して下記イベント（11月19日）から、求人情報コーナーをモデル設置します。

職住近接実現に向けた「地域と地元企業の交流イベント」（保育あり）

- ◆日時： 平成30年11月19日(月)～22日(木) 10時～14時
- ◆会場： 並木ラボ
- ◆内容： ① 地元企業との座談会
② 求人情報コーナー（モデル）設置
③ 私の求職票づくりコーナー
④ 就労応援プチセミナー
⑤ 親子で楽しめる各種イベント
- ◆参加： 無料、事前申込不要
- ◆主催： 横浜市政策局、横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会



※詳細は別添チラシ参照

※取材にお越しいただく場合は、11月16日(金)17時まで政策局男女共同参画推進課までご連絡ください。

裏面あり

参考

金沢臨海部について



金沢臨海部では、住宅エリア「金沢シーサイドタウン」と企業集積エリア「LINKAI 横浜金沢」が隣接しています。

LINKAI 横浜金沢は、製造業、卸・小売業、運輸・物流業を中心に主に中小企業が多く集まり、1,000を超える企業・事業所が立地しています。中でも、木材・金属・プラスチック等の加工業や、最先端のIT技術、食品製造等、多種多様な製造業企業が集結する、市内随一の産業団地です。

教員地域貢献活動支援事業（協働型）について

横浜市立大学の教員の専門性や大学が持つ「知」のリソースを活かしながら、自治体・企業等から提案される地域課題を、調査・研究・社会実験等の活動を通じて協働で解決する事業です。

※三輪 律江（みわのりえ）プロフィール

専門は建築・都市計画、参画型まちづくり、こどものための都市環境、環境心理学。博士（工学）。子どもの育ちとまちの関係に着目した実践的調査研究を数多く手掛けている。



横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会について



横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会は、地元企業や団体、行政、大学、地域住民等で構成され、平成30年7月14日より「あしたタウンプロジェクト」を始動しています。

このプロジェクトは、「住宅地」におけるエリアマネジメントにより金沢シーサイドタウンの課題解決、活性化を目的としています。

【並木ラボ】

あしたタウンプロジェクトの活動第一弾として、平成30年7月14日に、商店街の空き区画を活かしたコミュニティスペース、新「並木ラボ」をオープンしました。

約260㎡の空間が「貸しスペース/キッチンスペース/キッズスペース/フリースペース」で構成され、誰でも立ち寄れてゆっくりと過ごしてもらえる場所づくりを目指します。



お問合せ先

【本取組、取材依頼について】	政策局男女共同参画推進課長	山本 千穂	Tel 045-671-3691
【金沢臨海部について】	金沢区区政推進課長	八谷 将人	Tel 045-788-7720
【教員地域貢献活動支援事業、並木ラボについて】	横浜市立大学企画財務課担当課長	倉本 裕義	Tel 045-787-2405

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。